



市制施行80周年を祝して、 友好都市から代表者が来鈴しました

市制施行80周年を迎えた昨年12月1日、本市の友好都市であるアメリカオハイオ州にあるベルフォンテン市とフランスのル・マン市の代表者が、記念式典に参加されました。滞在中は両市との交流も深まり、本市との友好関係を通じて、3都市が今後の強い連携を約束しました。

アメリカ合衆国 ベルフォンテン市

1991年8月7日、本市はアメリカのベルフォンテン市と友好協定を締結しました。締結の背景となったのは、1978年の市内企業によるオハイオ州への進出です。本市からも多くの従業員が駐在したことから、両市の交流が生まれました。

友好協定を締結する以前の1988年から始まった青少年相互交流事業では、これまでに多くの青少年が両市を行き来し、交流を続けてきたことで、グローバルな人材の育成を実現してきました。

市制施行80周年記念式典には、ベン・スターラー市長とサラ夫人が出席され、ベン市長には一部日本語を交えながら、祝辞として、「私たち両市の間の絆が、世界経済を強化し、国際理解を促進するものとなることを願っています」と述べられました。

また、2020年以降、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインで交流会を続けてきましたが、今回の来日で数年ぶりの対面実施ができました。交流会には、過去の交流事業参加者も集まり、ベン市長に対して、「ベルフォンテン市との交流をきっかけに英語を身につけることができた。将来は英語を使った仕事に就きたい」と伝えると、ベン市長は「青少年らの成長に喜びを感じている」とお話しされました。



▲記念式典で祝辞を述べるベン市長



▲青少年と交流するベン市長

フランス共和国 ル・マン市



▲共同宣言署名の様子(2019年6月)

1990年5月27日、フランスのル・マン市と友好協定を締結しました。ル・マン市では世界的に有名な「ル・マン24時間耐久自動車レース」が開催され、本市と同様にモータースポーツ都市であることなどの共通点から、協定締結に至りました。

2013年9月には、フランスのパリ市において、スウェーデンのユースダール市を含めた3都市で「地域共生と世界平和に関する日仏瑞三都市共同宣言」を行い、2019年6月にもル・マン市と共同宣言を行うなど、今日まで連携を強化してきました。

市制施行80周年記念式典には、ソフィー・モワジー副市長が出席され、ステファン・ル・フォル市長からのメッセージとして「私たち、2つの自治体間で開始された交流は、2つの都市の市民の将来の繁栄のために大きな資産である」と披露されました。

式典後には市長を表敬訪問し、ソフィー副市長は「今後はモータースポーツ都市としての交流のみならず、さまざまな分野において連携していきたい」とお話しされました。



▲市長と交流するモワジー副市長